

02-03 *Special Issue*

TRUE STORY OF

MASAFUMI MIYAGI
KIM CHOL-HO

豊富な社会経験を持つとともに、レノファ山口FCのスピード昇格に貢献した宮城雅史の人生観とは？そして、韓国の強豪クラブからサンガへ活躍の場を移したキム・ Cholホが未来に向けた決意を語る。

05 *Razor Ramon RG's "SANGA ARU-ARU"*
レイザーラモンRG、西京極スタジアムに登場!!

6月9日(土)に行われた西京極スタジアムでの松本山雅FC戦に、「あるある」ネタでお馴染みのレイザーラモンRGさんが登場。「サンガあるある」の熱唱や、ファン、サポーターと交流するトークショーで交流で盛り上げてくれました。

06-07 *Sanga & Hometown*
南丹市・城陽市でスポーツ体験

今回は南丹市で岩崎悠人がトライアスロンのバイクを体験。そして、城陽市では沼大希とお笑い芸人「きみどり」の土居ちゃんが、人と環境にやさしい新感覚のスポーツ「エコロベース」で子どもたちと一緒に汗をかきました。

04 もっと、MOTTO 団結心

富越 正秀さん 京都サンガF.C.
オフィシャルカメラマン04 *Stadium Event*
7月のホームゲームイベント

Match Information

July

■2018明治安田生命J2リーグ 京都サンガF.C.試合日程

第22節	7月 7日(土) 18:00	アビスパ福岡	西京極
第23節	7月16日(月) 18:00	水戸ホーリーホック	西京極
第24節	7月21日(土) 18:00	松本山雅FC	松本
第25節	7月25日(水) 19:00	FC町田ゼルビア	町田
第26節	7月29日(日) 18:00	東京ヴェルディ	西京極



ムラサキマツリ

MURASAKI MATSURI

<http://www.sanga-fc.jp>

#sanga



TRUE STORY OF

MASAFUMI MIYAGI



ハングリー精神で、もっと上の世界へ

3 DF 宮城 雅史

1991年1月19日生まれ。沖縄県出身。駒澤大学卒業後、栃木ウーヴァFCを経てレノファ山口FC(当時JFL)に加入。本職はセンターバックだが、さまざまなポジションでプレーし、山口のJ2へのスピード昇格に貢献。今季から加入したサンガではセンターバックやアンカーとしてプレーしている。

「後悔したくない」一念で切り拓いたサッカー人生

変 わった人。あるチームメートは、彼をそう評す。その評価は、ある意味まっとうだ。自身でも、「人とは考え方がちょっと違う」と認める。サッカーエリートの道を歩んできた選手が多いJリーガーの中で、宮城は異質の存在だ。

故郷の沖縄で18歳まで過ごし、サッカーの名門の駒澤大学に進学。しかし、大学1年のときに招集された年代別日本代表で、「沖縄では何でもできる気でいた」宮城の視界が一変する。「全国から猛者が集まってきていて、うまさよりも『オレが、オレが』っていう貪欲さに衝撃を受けてしまって…。そういう世界なんだなって、改めて実感させられましたね。自分が萎縮するっていうのも初めての経験でした」。

前十字靭帯断裂の大けがを負ったこともあり、駒澤大学での4年間は失った自信を取り戻せないまま過ごすことになった。それでも、サッカーを続けることを選択。「普通だったらあきらめるところですけど、後悔はしなくなかったです」。大学のコーチの紹介で、卒業後はJFLの栃木ウーヴァFCに加入。1年後の2014年には練習参加していた松本山雅FCの関係者の紹介で、同じJFLに所属していたレノファ山口FCに移籍する。

何とかプレーヤーとしての道は切り拓いていたものの、当時は昼に仕事、夜に練習をする毎日だった。特に宅配便の仕事のキツさは、強烈な記憶として残っている。「朝の8時から荷物を詰め込み始めるんですけど、まず午前中指定の荷物があつて、それが終われば12時～午後2時指定。ずっと走らざるを得な



いんです(笑)。お昼ご飯はほとんど食べたことがなくて、気がつけば夕方の6時。そのあと、夜は7時から9時まで練習していました。あんなに1日を早く感じたことはなかったです」。

練習環境も決して恵まれたものではなかった。「野球場の外野で練習したり、小学校の土のグラウンドを半分だけ使わせてもらったりしていましたね。山口に行っても練習着は自分で洗ってましたし、トレーニング器具もあまりない環境でした」。

サッカーに集中できる環境で「もっと自分を高めたい」

飛躍の契機となったのは、「本当に運が良かった」と振り返る山口への移籍だった。加入1年目にJFLからJ3に昇格。翌年にはJ2への昇格を果たす。快進撃を続けるチームの中で、得点力を備えたセンターバックとして、宮城の評価も高まっていく。

待ち望んでいた対戦も実現した。昨季まで名古屋でプレーしていた田口泰士選手(現磐田)は、同じ沖縄出身で同い年。A代表も経験しているMFは、「小学校の頃から雲の上の存在」だった。その田口と昨年、初めてプロの舞台で同じピッチに立った。「アイツはやっぱりすごかったです。でも、ちょっとずつ背中が見えてきたのかなと思いました」。

そして迎えた今季、「もっと自分を高めたい」とサンガへの移籍を決断。「グラウンドもいいですし、トレーニング器具やトレーナーなど、チームスタッフも揃っている」。新天地はこれまでになくサッカーに集中できる環境だ。だが、「自分がこの環境を当り前だと感じるようになってしまうのもイヤなんです」と自戒するように付け加える。

宮城が歩んできたのは、叩き上げのサッカー人生。その過程で得たものを、こう話す。「ほかの人たちは高卒、大卒ですぐにプロになって、お金をもらっている。でも、自分はそれが当り前じゃないことも、お金を稼ぐキツさも知っています」。

原動力になっているのは、エリートでは持ち得ないハングリー精神だ。這い上がって手にした環境だからこそ、決して現状に満足することはない。「もっと上の世界を見てみたいんです。まだ目指すところはありますから」。サンガで昇格し、自身にとって未知のステージであるJ1へ。普段は穏やかな眼差しを見せる宮城だが、その目の奥では、さらなる高みをしっかりと見据えている。

ミヤを紐解く Q&A

- 趣味、最近ハマっているものは？
水出しコーヒー。自分に合った豆を探しています。
- 好きな食べ物
肉。果物全般。
- 休日の過ごし方は？
目覚ましなしで起きて、コーヒーを飲みながら1週間分のドラマを見て、温泉に行く。それで1日が終わります(笑)
- ファン、サポーターにオススメの沖縄観光スポットと沖縄料理を
海中道路を渡って行く浜比嘉島。車で走ると心が安らぎます。オススメ料理は「キングタコス」のタコライス。

- 京都で行ってみたいところ
お寺。でも、人が多い場所はちょっと無理(笑)。
- 好きな女性のタイプ
バランスや品数を考えて料理を作ってくれる人。
- 自分の性格を自己分析してください
マイペースと言われます。自分ではあまり思わないけど…。
- 普段のファッションのこだわりは？
動きやすくて涼しいこと。Tシャツに短パン、島ぞうりが理想(笑)。
- 今まで経験したアルバイト、仕事をザッと挙げると？
市役所の臨時職員、派遣でのライン作業、宅配便、TV局の制作。

- プロサッカー選手になっていなければどんな仕事をしていた？
大学に入るまでは税理士を目指していました。
- 山口の選手として対戦した時のサンガの印象
個の力が強烈で、チームで対応しないと勝てない。
- 試合に臨む時に必ずやるルーティンがありますか？
ルーティンをつくらないようにしてますけど、前日からカフェインをあまり体に入らず、水分を多く摂ることは意識します。
- タイムマシンに乗れるとすれば、いつに行きたい？
死ぬ間際の自分に「何を後悔しているか？」聞きに行って、その後悔をしないように生きたいです。

文＝川瀬太補／エルゴラッソ京都担当

COCON KARASUMA
地下鉄烏丸線「四条駅」23番出口すぐ
阪急京都線「烏丸駅」23番出口25番出口すぐ
市バス「四条烏丸」徒歩すぐ

多彩な一品料理からフルコースまで
本流を行く中国料理をお楽しみください

出来立て点心を香港式ワゴンサービスで
実際に見て選ぶ楽しさをご堪能ください

ご予約・お問い合わせ TEL.075-341-1800
営業時間 ランチ 11:30-15:30 (L.O.15:00)
ディナー 17:00-22:00 (L.O.21:00)
<http://oldhongkong-kyoto.net>

COCON KARASUMA
古 今 烏 丸

老香港酒家京都
OLD HONGKONG RESTAURANT KYOTO

勉強からサッカーに転向、そして強豪・FCソウルへ

Kリーグを代表する強豪・FCソウルからサンガに加わったキム・チョルホ。じつはサッカーを本格的に始めたのは14歳からだという。「それまでは勉強をがんばっていましたが、肌に合わずにやめてしまいました。そのとき、父の知り合いからサッカーに誘われたんです。チームに所属するのは初めてで、他の選手より実力が劣っている。最初はきつかったです。それでも中学の3年間で身長が20センチも伸びて、徐々にGKとしてセンスを磨いていく。「セービングやダイブを覚えていき、GKのやりがいを感じ始めました。他のポジションをやりたいとは思いませんでしたね」。日々の鍛錬はハードで、三部練習の日もあったという。「コーチからは『食うか、食われるのか、どっちでもいければボールだけは絶対に離すな!』と言われました。あとは、クロスボールや1対1の処理では果敢に前に出ること、チームメイトに喝を入れることもそうですね」。そうした指導から、現在のストロングポイントが育まれていった。

どんどんと頭角を現していくキムは、FCソウルにスカウトされてユースチームに加入し、その後トップチームにも昇格。「トップチームでは練習や試合で選手の目の色が全然違って『やるか、やられるか』というビリビリした雰囲気がありました。先輩方から怒られて、萎縮してしまうこともありましたね」とレベルの高い環境の中で様々な経験を積んでいく。当時のFCソウルを率いていたのはチェ・ヨンス監督。現役時代は京都でもプレーした名ストライカーで、監督としても評価を高めている。「カリ

スマ性があるって、選手の気持ちを上手くコントロールしてくれます。GKを重視する監督で、ある練習試合で自分がキックミスをしたときに『おい、試合に出たくないのか! 罰としてでんぐり返りをしろ!』と言われました。試合中にですよ(笑)そういう厳しさがある一方で、試合後には優しく声をかけてくれることもあります。完璧を望む人ですね」。

先輩の助言を実践し、日本で飛躍のきっかけを

チームには経験と実力のあるGKがいて、なかなかチャンスが訪れない。そんな中、京都からのオファーが届いた。「こんなチャンスはそう多くはない。挑戦しよう! しないと後悔すると思いました。サンガは韓国でも、パク・チソンさんをはじめとする選手が活躍したチームとしてすごく有名なんです」と初の国外移籍を決意する。日本では言葉の問題や練習メニューの違いなどに直面し、Jリーグに在籍経験のある指導者や選手にアドバイスを求めることがあった。その中に、サンガでも活躍したGKオ・スンフンもいた。「早く日本語を話せるようになること、自分から日本人に近づいていくことをアドバイスされました。そして『努力して真面目に取り組んでいれば、いつか必ずチャンスが来るよ』とも」。そうした先輩からの助言もあり、現在は日本語がかなり上達した。当初は覚えた単語が瞬時に出てこなかったが、現在はピッチ上で状況に応じた言葉を力強くチームメイトに伝えられるようになり、選手間の日常会話も日本語で行っている。

サッカーにおいても、さまざまなものを習得中だ。「日本では最終ラインの裏のスペースのケアや、DFがボールを持った時にパスコースをつくるといったサポートを常に求められる。そこは成長できています」。サンガではリザーブに名を連ねる試合はあるが、まだ公式戦の舞台には立てていない。「すべてにおいてレベルアップが必要です。『あいつは日本人なのか?』と思われるくらい言葉も習得したい。サンガの選手たちといい関係を築いて試合に出て、チームの勝利に貢献したいです。ワールドカップを見ていて、自分もあの舞台に立ちたいと刺激を受けました。そのきっかけを日本でつくればなと思います」とJリーグデビューや、その先にある大きな夢を目指して努力を続ける。

TRUE STORY OF

KIM CHOL-HO



仲間たちといい関係を築いて勝利に貢献したい

27 GK
キム チョルホ

1995年10月25日生まれ。大韓民国出身。高校を卒業後、Kリーグの強豪・FCソウルに4シーズン所属。今季、サンガに加入し、海外でのプレーの第一歩を踏み出した。身長187cmの恵まれた体格と、身体能力の高さを生かしたセービングや、守備範囲が広さが武器。

キム・チョルホを紐解くQ&A

- 趣味、最近ハマっているものは？
日本人の友達をつくる、好きなBLACKPINK(K-POP)などの曲を歌う。
- 好きな食べ物
キムチチゲ。日本料理ならうどんとモツ鍋。
- 休日の過ごし方は？
身体を休めたり、オギ(萩野広大)が怪我をする前は彼の車で佛寺やスタバに行きました。
- 日本の漫画、アニメ、映画、音楽で好きな作品はありますか？
ワンピース、クレヨンしんちゃん、ナルト、犬夜叉。日本に来る前から好きでした。

- 京都で行ってみたいところ
本願寺。京都はお寺が有名なのでたくさん行きたい。
- 好きな女性のタイプ
配慮してくれる人、好きなタレントはキム・サラン。
- 自分の性格を自己分析してください
明るい性格、早く仲良くなれる。
- 最近一番笑ったのは？
寮でオギが部屋に来た時、すぐにばれる居留留を使って怒られた。
- ファッションのこだわりは？
服はシンプルに、その中でなにかポイントを付けたい。

- ワールドカップの韓国代表で注目している選手は？
GKチョ・ヒョヌ選手。KリーグのナンバーワンGKで、プレイスタイルは勉強になります。
- お勤めの韓国観光スポットと韓国料理は？
済州島(チェジュ島)は観光名所が多く、食べ物も美味しい。料理はスンドク(豚の腸詰めスープ)、日本のモツ鍋の味に近い味です。
- タイムマシンに乗れるとすれば、いつに行きたい？
自分の中学時代に戻って「サッカー選手はきつくてしんどいから、別の職業をやってみてはどうか」と伝えたい。

文＝雨堤俊祐

— がんばれ、サンガサポーター —
応援で熱く、ガスで涼しく。



大阪ガス株式会社 広域エネルギー第1営業 〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目5番11号 電話 06 (6205) 4164

**おひとりさまでの
参加も大歓迎!!**

「個サル」大好評開催中!!





「個サル」とは「個人参加型フットサル」の略称で、その日に集まったメンバーでフットサルを楽しめます。これからフットサルを始めたいと思っている方、チームに所属していないけどフットサルを楽しみたい方、ぜひお気軽に参加してください!!



**みんなでゆる〜くエンジョイ!
エンジョイクラス**

毎週金曜日 20:00〜22:00
毎週土曜日 18:00〜20:00
料金／男性¥1,000、女性¥800

**初心者・女性集まれー!
初心者クラス**

毎週水曜日 19:30〜21:00
毎週木曜日 20:00〜21:30
料金／男性¥1,000、女性¥800

詳しくはサンガフットサルパークホームページまで!!

SANGA FUTSAL PARK
サンガ フットサル パーク

〒610-0121 京都府城陽市寺田大谷141-1
ご予約・お問い合わせ：0774-58-0069

平日10:00〜24:00
土日祝 8:00〜24:00
月曜日 休
★駐車場完備



<http://www.sangafutsalpark.jp>



ワールドカップのおかげでまた日本のサッカー熱が上がってきてますね。

▶今回のワールドカップは直前まで「全然盛り上がってないね」と言われがち♪

だったのが、強豪コロンビアに勝ったもんだからニュースやワイドショーもサッカー一色！日大アメフトタックル事件もアマレスパワハラ問題も加計学園も暗いニュースを全部「大迫半端ないって！」で吹き飛ばした。

そう、サッカーは国の景気変えるくらいの力があるんや！

思えば東日本大震災のあと、日本に希望与えたのはサッカー女子日本代表だった。コロンビア戦の前も大阪北部を中心に大きい地震があった。

▶日本が元気ない時にサッカーが助けがち♪

本田、香川、長谷部…不安視されてたベテランも勝利で見返したったんや！

C・ロナウドも33歳で強豪スペイン相手にハットトリック達成や！

年齢関係ないで！カズも30歳超えてからクロアチアに移籍したで！

▶熱くなると文章関西弁になりがち♪

このワールドカップを見てサンガの選手、スタッフも何も思わないわけがない。

1勝が人を、街を変えるんや！

その気持ちで西京極に「サンガがあるある」を歌いに行ったんですが…

チームを勝利に導けませんでした…

しかしとあるお客さんに、こう言われました。

「RG半端ないって！

X JAPANの紅でサンガがあるあるを
原曲キーで歌ってるもん！

そんなん歌えへんやん、普通！」



6月9日(土)に行われたホームゲーム、松本山雅FC戦に、レイザーラモンRGさんが応援に駆けつけてくださいました。RGさんの参戦は2年ぶり2回目。前回は北海道コンサドーレ札幌と0-0の引き分けでしたが、今回こそサンガを勝利に導くべく、試合前のスタジアム場内でX JAPANの『紅』のメロディーでサンガがあるあるを熱唱！「RGが来たらサンガは負けない♪」と、力強い歌声をサンガファン、サポーターに届けてくれました。

続いて、スタジアム外サンガフレンズスクエアでトークショーを開催。会場に集まったファン、サポーターから「西京極あるある」や「松本山雅あるある」を募ると「山雅戦はアウェイ席売り切れがち♪」といったあるあるが飛び出しました。さらには「今日は声が良く出て絶好調！」というRGさんが、ギャラリーが出したお題に対し、即興でおあるあるを披露。「美容師あるある」や「たこ焼きあるある」、「外国人あるある」などを熱唱し、会場を爆笑の渦に巻き込み、楽しい時間があっという間に過ぎました。



レイザーラモンは7/15(日)よしもと祇園花月本公演に出演！

そして夜はRGが120分あるある歌いつづけ、それを浅越ゴエが120分実況解説!!

7/20(金)までの平日の本公演、60歳以上の方がお安く観劇できる「青春60チケット」が発売。(要証明書)

詳しくはよしもと祇園花月HPで!

<http://www.yoshimoto.co.jp/gion/>

よしもと祇園花月

検索

京都サンガF.C. サッカースクール presents 夏期特別スクール実施!



●Aコース [申込締切]7月23日(月)

8月1日(水)、2日(木)、3日(金)

●Bコース [申込締切]8月3日(金)

8月11日(土)、12日(日)、13日(月)

お申込は下記URLか右のQRコードで
専用申込フォームにアクセス!!

<http://s360.jp/web/31122/sangaschoolevent/>

両コースの参加もOK!

【時間】年中・年長 / 9:00~10:00

小学1~6年生 / 9:00~10:10

【参加費】年中・年長 / 3,000円(税込)

小学1~6年生 / 4,000円(税込)

【会場】サンガタウン城陽人工芝グラウンド



さくら スクールコーチです!!

うえもとコーチ



普及部コーチ
植本 隆浩
(うえもと たかひろ)

こんにちは。今年から京都サンガF.C.のスクールコーチになりました。植本隆浩です。以前はファジアーノ岡山の育成部やトップチームでコーチをしたり、スカウティングをしたりしていました。小学生の時、市の選抜でアメリカに遠征する機会があり、いろいろな国の同世代とサッカーをしたことで「世界にはこんなすごい選手たちがいるんだ」「いつか世界を舞台に活躍する選手が日本から出てきたらいいな」と思うようになり、やがて指導者の道を志すようになりました。サッカーは複数人でやるスポーツです。自分がやりたいことをやりっぱなしにするのではなく、仲間と協力しながら勝利を目指す楽しさを子どもたちに伝えたいと常に思っています。そして、本気で取り組むからこそ技術の上達、達成感、そして真の喜びや楽しさがあることみんなに知ってもらい、サンガのスクールに来たことでもっとサッカーを好きになってもらえるよう、努力しています。



【無料体験実施中!!】みんなで一緒にサンガでサッカーをして、無限の可能性を広げよう!

サッカースクールに関するお問い合わせは
京都サンガF.C. スクール事務局まで

TEL.0774-55-7621



サンガキッズチアスクール

コンセプトは「元気」「笑顔」「心」
ホームゲームの盛り上げ役

サンガキッズチアスクールは、基礎体力やリズム感、ダンスなどの技術のみを追求するだけでなく、笑顔や思いやり、感謝、仲間と協力しあう気持ちを育むことを大切にしています。スクール会場は西京極と太陽が丘の2箇所。現在は、幼稚園・保育園年中から高校生まで、100名を超えるスクール生が日々、技術と心を磨いています。



現在、リトルクラス(年中・年長)、
キッズクラス(小学1~3年生)の
メンバーを募集中★

詳しくは右のQRコードから!!▶



お問い合わせはスクール事務局まで!!

TEL.0774-55-7621

ホームタウンで アツテQ!

第3回 南丹市

2018シーズンは、各ホームタウンで盛んなスポーツを選手が自ら体験!!

13 FW
岩崎 悠人 × バイク

水泳(スイム)・自転車(バイク)・ランニング(ラン)の3種目を連続して行う競技「トライアスロン」。南丹市では「京都丹波トライアスロン大会in南丹」が毎年開催されています。今回はそんなトライアスロン会場で岩崎悠人選手がバイクに挑戦!!



京都丹波トライアスロン大会in南丹
実行委員長
麻田 健治さん

京都府トライアスロン協会
副理事長
佐々木 政治さん

京都サンガF.C. 13 FW
岩崎 悠人選手

岩崎 競技用バイクは初めてでしたが、楽しかったです! ご指導いただきありがとうございます。

佐々木 サッカー選手なので最初は下半身だけで乗っている感じでしたが、後半は上半身をうまく使いながら乗れるようになっていましたよ。コツをつかむのがとても早くて驚きました。

岩崎 トライアスロンはスイム、バイク、ランそれぞれどれぐらいの距離なんですか?

佐々木 スイムが1.5km、バイク40km、ランは10kmです。陸上選手は泳ぐのが苦手な人が多いので、水泳競技出身のいわゆる「走れるスイマー」がトライアスロンに挑戦することが多いです。

岩崎 サッカーは6歳から始めたのですが、実は3歳から11歳までは水泳もやっていたんです。水泳や長距離



走で心臓がバクバクする感覚が好きなので、トライアスロンにも以前から興味があったんですよ。

麻田 サッカーではどれぐらい走りますか?

岩崎 僕は1試合に10km以上走ります。

麻田 じゃあ、トライアスロンとサッカーをかけ持ちできますよ(笑)。

岩崎 今日、バイクに乗ってみて、本当にいつかトライアスロンに挑戦してみたいと思いました。先日、「アカデミースペシャル」でも南丹市の小学校を訪問しましたし、実はこのあたりの風景が好きで、プライベートでもたまに来ることがあるんですよ。トライアスロン会場としてもすごく整備されていますね。

麻田 「スポーツでまちを元気にしよう」という考えのもと、今ある環境を活かしてできる競技



の選定をスタートさせました。中でも目の前に流れている桂川をなんとか活かしたいと考え、トライアスロンの誘致と環境整備に力を入れてきたんです。そして「京都丹波トライアスロン大会in南丹」が毎年開催できるようになり、回を重ねるごとに参加者が増えていきました。今年は全国レベルの高校生が南丹市に集結し、1万2000人を超える観客の中で競技が行われます。

佐々木 そして、2021年には「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催され、ここがデュアスロン(ランとバイクの複合競技)の会場になることが決まりました。今回がアジア初の「ワールドマスターズ」開催で、30歳以上の競技者が世界中から集まるんです。

麻田 他にもカヌー競技などの誘致にも力を入れ

ており、なんとか南丹市からオリンピック選手を出したいと頑張っているところなんですよ。

岩崎 僕もサッカーで2020年の東京オリンピック出場を目指しているので、サンガのホームタウンである南丹市で育った選手がオリンピックで活躍することを祈っています。

麻田 私の孫がサンガU-12SPコースでサッカーをやっているんですが、サンガのトップチームの選手は子どもの憧れの存在ですよ。

佐々木 これからの担う子どもたちの希望の星として、ぜひ頑張ってください。

岩崎 ありがとうございます! (6月13日取材)



実際に乗ってみるとかなり奥深いバイク競技に、思わず夢中になった!

①基本フォームの練習



まずサドルの高さを調整後、バイクに乗る時の基本姿勢を練習。野球の守備のように腰を落として骨盤を後ろにスライドさせることで、安定した走行ができるようになるかと教えていただきました。

②走行練習



マーカーを使いながら走行練習。コースを往復しながら、まっすぐ走る練習やジグザグに走るスラローム、バランスを取りながら最速走行する練習などを重ねてバイクに慣れていきました。

③上級編



屋内練習やウォーミングアップに使われる3本ローラーを使った練習。最初の一漕ぎが弱かったり、途中で止まったりバランスを崩すと転倒する難易度が高い練習にも挑戦。



水泳も得意だし、走るのも大好き。今回バイクを体験したことと、いつかトライアスロンにチャレンジしてみたいと思いました!

2018年8月26日(日) ※開会式は8月25日(土)
「第4回京都丹波トライアスロン大会in南丹」
【場所】南丹市 桂川(大堰川緑地公園) 及び周辺地域
<http://kyoto-triathlon.jp/index.html>

京都の観光情報なら

京都いいとこウェブ



京都いいとこウェブ



<https://kyoto.graphic.co.jp/>

旬の観光情報を発信する「京都いいとこマップ」。7・8月号では、夏限定の特別公開情報や川床ランチ、祇園祭や五山送り火の情報をお届けしています。夏の京都観光にお役立てください。



京都の地域情報なら

Kyoto ebooks



京都ebooks



<https://www.kyoto-ebooks.jp/>

京都府の各地域の広報誌やフリーペーパーが、電子書籍で読めるポータルサイトです。いつでもスマホでご覧いただけます!



第4回 城陽市

16 MF

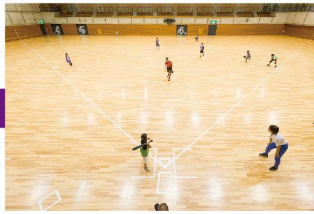
沼 大希

きみどり

土居 宗将

超軟式
ベースボール

エコロベース



城陽市で生まれた新しいスポーツ「エコロベース」は、「人にやさしい」「環境にやさしい」超軟式ベースボールです。今回は野球が大好きな沼大希選手と、お笑い芸人「きみどり」の土居ちゃんが、市民体育館に集まった子どもたちと一緒にエコロベースを体験。年齢や性別、障がいの有無を問わずプレーできるスポーツを楽しみました。

「エコロベース」は野球やソフトボールとよく似た、城陽市発祥の屋内外で行われているスポーツです。「人と環境にやさしい」のが特徴で、さまざまな工夫がなされています。ボールは当たっても怪我をしにくいウレタンボールで、ルールもスライディングやクロスプレー、タッチプレーを禁止しているので、子どもからお年寄りまで男女を問わず、容易にプレーすることが可能です。また、用具は竹のフレームにペットボトルの再生糸を使ったネットを張ったエコロミット（グローブの代わり）や、竹と合成ゴムでつくられたバットを使用し、「環境にやさしい」用具を使っています。他にも走塁用と守備用



のベースを分けたり、インニングごとに守備位置をローテーションするルールがあったりと、「誰もが楽しめる」とこと、「安全」に関して、さまざまな配慮がなされています。

この日は城陽市内外から集まった小学校1年生から6年生までの男女が参加。初めてエコロベースに挑戦する子や、エコロベースを始めて3年目の子など、さまざまな子どもが、沼選手、土居ちゃんと一緒にプレーを楽しみました。

沼選手は「サッカーをやっていたら、野球をやったかった」という大の野球好き。今もバッティングセンターに行くことがあるそうで、かなりプレーに自信を持っている様子。



一方の土居ちゃんは、小学生の頃に親から買ってもらったグローブを一度も使わないうちになくしたため、経験はゼロ。「みんなの足を引っ張ったらどうしよう」と不安げでした。

そして試合開始。1回はみんなエコロベースに慣れていないためか、両者無得点で終了。沼選手と土居ちゃんが投手・打者になる直接対決の機会が回ってきた2回以降から試合は白熱してきました。2回裏は土居ちゃんの甘いボールを沼選手が渾身のスイングで打ち返しましたが、当たりが大きすぎて天井に当たり、ローカルルールによりアウト。3回表は土居ちゃん



んがショートゴロでアウトになるもその間にランナーの子どもがホームイ

ンし、先制に成功。3回裏はまたもや沼選手が天井フライでアウト。その後一進一退の攻防が続く3-3で迎えた最終インニングの4回裏、2死満塁でバッターボックスに立ったのは沼選手。慎重に放った打球は天井に当たらず大きく伸びる！しかしこれはセンターがガッチリ捕球し、悲鳴や落胆の音が響く中、おおいに盛り上がった一戦は引き分けで終了となりました。

(6月16日取材)



大人と子どもが一緒になってプレーに熱中できるのがエコロベースの魅力！

①ウォーミングアップ



まずはキャッチボールで肩慣らし。グローブの代わりに使う「エコロミット」は意外にボールをキャッチしやすくできています。その後、子どもたちと一緒に準備運動をしました。

②プレイボール



沼選手率いる「チームむらさき」と、土居ちゃん率いる「チームきみどり」に分かれて、いよいよ試合開始！この後、両チーム一歩も譲らない、白熱したゲームが展開されました。

③子どもたちと交流



試合後は、子どもたちの質問に沼選手と土居ちゃんが答えるQ&Aコーナーや、サンガからのプレゼントにサインをしたりして、しばし交流を深めました。

子どもたちと一緒に盛りがれて、最高に楽しかったです☆
これなら気軽にできるし、
また、いつでもやりたい!!



今回の体験の様子はJ:COM京都
「Foot Style 京都」(月・金22:00~、土・日9:00~)の
7月前半号(7/1~7/15)で放映されます。

THE NEW VALUE FRONTIER

KYOCERA

最強、躍動。

※2
耐海水
SEAWATER
PROOF

耐衝撃
SHOCK
PROOF

※1
耐氷結
FREEZE
PROOF



高耐久スマートフォン
TORQUE® G03

※1: 米国防総省の調達基準(MIL-STD-810G) 19項目に準拠及び京セラ独自の耐久試験2項目に加え高さ1.8mからの落下試験をクリア(詳細はauホームページ参照)したau初のスマートフォン(2017年5月10日現在、京セラ調べ)。※2: 日本沿岸部を想定した海水で京セラ独自の耐久試験を実施。水深1.5mに約30分沈めても本製品内部に浸水せず、電話機の性能を保つこと。全ての海水耐久に対して保証するものではありません。無故障を保証するものではありません。

京セラ株式会社

Next Generation ～進化はサンガアカデミー～

U-19日本代表トレーニングキャンプレポート

2018年5月28日(月)～6月1日(金) 取材・文＝雨堀俊祐

サンガから選ばれた3選手はJ2での実戦経験を活かしアピール!!



U-19日本代表候補のトレーニングキャンプがJ-GREEN堺で行われ、京都サンガF.C.からはGK若原智哉、そしてU-18からMF福岡慎平とMF上月壮一郎が召集された。

5日間の日程の中で注目されたのが、3日目に行われたU-19大学選抜との練習試合だ。2試合が実施され、1試合目はいわゆる常連組、2試合目は新戦力の選手たちが多いメンバー構成となった。1試合目に出場したのは上月と若原。上月は左MFで約60分間プレーし、前半10分にはドリブルで敵陣を突き進んでバー直撃の惜しいシュートを放つなど、持ち味を発揮した。同時にボールを受ける前の準備や、受けた後の判断に気を使っており、自ら仕掛けるだけでなく攻撃参加したサイドバックを効果的に使う場面もあった。この合宿の直前のJ2第16節 横浜FC

戦でJリーグデビューを果たした上月は、試合後に状況判断を課題に挙げていた。トップチームで感じた課題を糧として、更なる成長を目指している。影山雅永・U-19日本代表監督も「スペイン遠征にも連れて行って、ひとつ上の学年との融合を図っています。日本人には珍しい縦への突破力がある」と期待する。また、若原は交代出場で30分間プレーし、見せ場はなかったものの堅実なプレーで試合を締めた。今回召集されたGKで、所属クラブでリーグ戦に出場しているのは若原のみ。「(J2で)経験を積んで収穫と課題がはっきりしてきて、それが代表での活動にもつながっている」と手応えを感じている。

福岡は2試合にフル出場。昨年の世界大会でもコンビを組んだ平川怜(FC東京)とのダブルボランチで、急造チームの支柱と



なった。的確な位置取りと状況判断で攻撃を組み立て、味方への指示も出すなど、さすがの存在感だった。また、対戦相手にはサンガU-18出身のMF田中康介(立命館大学)の姿もあった。

この合宿を経て、上月はU-18日本代表のポルトガル遠征に、若原はU-19日本代表のロシア遠征に選ばれた。若原はワールドカップを戦う日本代表のトレーニングパートナーという貴重な役割も経験している。トップチームでの活動を優先させている福岡も含めて、彼らの成長がチーム力の向上につながるはずだ。

7月22日(日) 第42回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会開幕!!

関西地区予選・第4代表プレーオフを勝ち抜いた京都サンガF.C.U-18が、7月22日(日)に開幕する第42回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会の本大会に出場します。皆さまの熱い応援よろしくお願いします!!

■グループステージ試合日程

節	開催日	キックオフ	対戦相手	会場
第1日	7月22日(日)	9:00	鹿島アントラーズユース	NTT図南
第2日	7月23日(月)	11:30	サンプリッヂ広島FCユース	富士見総合
第3日	7月25日(水)	11:30	栃木SCユース	前橋総合

■決勝ラウンド試合日程

ラウンド16	7月26日(木)	9:00	組み合わせ未定	群馬県内
準々決勝	7月28日(土)	9:00	組み合わせ未定	群馬県内
準決勝	7月30日(日)	16:00/19:00	組み合わせ未定	味フィ西
決勝	8月1日(水)	17:00	組み合わせ未定	味フィ西



サンガつながり隊 よっしいコーチの

みんなが「つながり隊」!!

「本気で取り組むことの素晴らしさ」を大人が見せてあげましょう

「サンガつながり隊」では最後にゲームを行っています。私も中に入って子どもたちと一緒にプレーすることがあるのですが、私が得点したら「大人なのに本気でゴールしてズレイ」と言う子が多いです。確かに子どもがゴールできるように、大人がお膳立てしてあげるのもひとつの接し方ですが、本気でプレーした先に真の楽しさや喜びがあったり、選手が本気でプレーする姿に見る人が心打たれたりするのがスポーツの本質。そして、子どもたちにとって、スポーツは大人が真剣に取り組んでいる姿を見たり、大人の力を体感できる良い機会です。「大人ってすごいんだ」「本気ってすごいんだ」という姿を見せるのも大切な学びのひとつだと、私は考えています。

①学びの原点は模倣にあります

例えば今ほど便利なものであふれていた時代、火を起こしたり、食料となる動物を狩ったりすることを、人はどうやって学んだのでしょうか。大人が火を起こしたり、狩りをしたりする姿を見た子どもが真似しながら学んでいったのではないのでしょうか。「いいか、よく見とけよ」と言いつつ得意げにナイフで鉛筆を削る父親の姿を見て、「大人ってカッコいいな」とか「お父さんってスゴいな」と思った経験をひとつやふたつお持ちの方も、きっと多いはず。現代の日常生活の中であれば、「あいさつをしなさい!」と言って聞かせるのではなく、大人から率先してあいさつする。あるいは「チャレンジしなさい!」ではなく、大人がいろんなことに興味を持って実践する姿を見せることが大切です。

②大人であっても完璧ではありません

大人が子どもの前で何かをやってみせようとする時、どうしても完璧にこなす姿をお手本として見せようとして。でも、大人といえども何事も成功するとは限りませんよね。子どもは大人の失敗からも多くのことを学ぶことができます。「大人も失敗するんだから、子どもの自分が失敗しても大丈夫なんだ」とか、「失敗した時はこうやってフォローすれば大丈夫なんだ」と子どもに感じてもらうことができれば、それは素晴らしい学びの機会になったということです。

③本気で取り組める環境設定をしてあげましょう

大人が子どもたちに混じってサッカーをする時「どうせ大人にかなわないんだ」とあきらめる子が多い。でも、「大人がゴールしたら1点、子どもがゴールしたら10点」というルールがあれば大人が3点取っても子どもは全力でゴールを目指します。先日、子どもチーム、大人の女性チーム、男性チームが参加する「田んぼラグビー」を見学する機会があったのですが、大人の方が技術や力では勝るものの、体の重みでぬかるみに足を取られてしまっていますが、子どもは大人たちの間を軽快にすり抜けることができるので、おのずと皆が全力でプレーしないといけな環境がありました。また、真剣に取り組むほど勝ちたい気持ちが強くなるのが人間です。大人も子どもも本気でプレーし、その先にある勝利の喜びを爆発させていた田んぼラグビーを見て、スポーツの中にある学びを改めて感じました。

よっしいのアドバイス

言葉で言われたことよりも自分で見たり体験したりして感じたことの方が、子どもは素直に受け入れてくれます。



福中 善久(ふくなか よしひさ)

1981年5月14日生まれ。奈良県出身。大阪YMCAで幼児から小学生を中心にサッカーをはじめ、さまざまなスポーツやキャンプの指導にあたった。2013年からサンガ普及部コーチ、2014年から「サンガつながり隊」コーチとして活躍し、京都府内の小学校を巡回して子どもたちに自分で考えて行動できるメニューを実践。身体を動かすことの楽しさや、仲間を思いやり協力し合うことの大切さを伝えている。